

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の歴史や自然及び文化財等について、市民の関心を高めてもらえるように、新収蔵資料展や絵画展、おひなさま展などの企画展を開催していく。市のホームページやフェイスブック、X(旧ツイッター)等を活用して周知し、リアルタイムに情報発信していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	<p>郷土博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどをお知らせするホームページの更新や、SNS(LINE、Facebook、X(旧Twitter))を積極的に活用し、情報発信を行った。常にSNSでの発信を心がけ、昨年度(277件)より多い件数(322件)を発信することができた。また、長走風穴館のYouTube動画やニホンザリガニの動画も発信した。</p> <p>郷土博物館での特別展、企画展として、平成8年の開館以降、さまざまな資料の寄贈を受けた中で、これまで未公開であった絵画や書の一部を厳選し、展示した「未公開資料展」(入館者897人)や令和5年度に実施された大館城跡の発掘調査で確認された柵・塀の痕跡や、二ノ丸に存在した江戸時代の遺構・遺物などを展示した「大館城跡・中仕田Ⅱ遺跡発掘調査成果展」(入館者672人)を開催し、市内外から多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。</p> <p>これまで大館郷土博物館と鳥潟会館の2カ所で開催していたおひなさま展を、鳥潟会館庭園が国指定名勝になったことから、鳥潟会館での開催に一本化し、準備を進めていたが、災害級の大雪で屋根や庭木からの落雪の危険のため会館を臨時休館としたため、イベントも中止せざるを得なくなった。来年度は開催時期をずらすなどの工夫が必要と考えている。</p> <p>今後も各施設への見学の機会を増やすため、地元新聞やホームページ、SNSによりタイムリーにPRし、幅広い情報発信に努める。</p>
学識経験者等意見	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p> <p>情報発信がうまくいっているように感じる。方向性も定まってきている。自信をもって今後も発信を積み重ねてほしい。反響も大きくなります期待値が高まる。</p> <p>今後もSNSを活用しながら企画展の開催などを発信し、市内外へ大館の歴史や文化を広め、大館びとの誇りを醸成していただきたい。</p> <p>雪に関しては残念だったが、安全が一番。おひなさま展は中止となったがその分、今年度たくさん見に来ていただけたと思うので、開催方法を工夫するなどして頑張してほしい。期待している。</p>

基本目標		
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成	
重点施策		
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	担当課(館)
	② 博物館講座等の開催と研究紀要の発行	歴史文化課
	<p>活動内容</p> <p>北鹿地域の市町村へ連携を呼びかけて、各地域の歴史や自然、文化財などについての博物館講座を開催する。また大館郷土博物館において、発明クラブやわくわくサイエンス、出前講座などを関係団体と協力・連携して、市民に学びの機会を提供していく。また、自然や歴史、文化財などについての研究紀要を発行する。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>市の歴史についての出前講座を3件実施した。子どもたちの知的探求心を刺激し、科学に関心を持つきっかけを提供するための科学教室「わくわくサイエンス」は、5回実施し115人の参加。(R6、5回、88人)</p> <p>また、2月には北鹿地方の自然、歴史、芸術などについて、地域住民の研究活動や生涯学習に役立てることを目的に「おおだて博物館講座」を開催した。今回のテーマは「大館のニホンザリガニと生息地を守る取り組み」で、生息状況や歴史、行われてきた保全の取り組みに焦点を当て、今後の在り方について展望するもので、講演やトークセッションを行い、大館鳳鳴高等学校生物部、ノースアジア大学明桜高等学校放送部、城南小学校のビデオ出演もあり、多彩な内容に参加者(23人)の反応も上々であった。特別展・イベント等は、「未公開資料展」、「松山尚『ニンギョ様を祀る』写真展」、「企画展 大館城跡・中仕田Ⅱ遺跡～令和5年度発掘調査成果展～」、「企画展 野生動物写真展(出張展)」の3回を開催した。</p> <p>また大館の自然や歴史、文化などに関する研究紀要「火内」を発行した。</p>	
	<p>課題等</p> <p>北鹿地域の市町村にある自然や歴史、文化財などについて、その魅力を広く発信するために、連携して博物館講座等を、オンラインでの視聴も検討して開催していきたい。</p> <p>また市民を対象にした自然や歴史、文化財などについて、各種講座を開催し情報発信して、学びの機会を提供していきたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>青少年を巻き込んだ動きが出てきており、とても良いと思う。子どもが来ると親も来る。取り組みが成果として出てきている。</p> <p>この地域の歴史や自然、文化財などについて学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成するための取り組みを継続していただきたい。</p> <p>科学教室の開催は、サイエンス、科学に興味を持つということにつながっていくので、普及拡大に向けアイデアをもって取り組んでいただきたい。</p> <p>大きな花が咲くのではと感じている。</p>	

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存や継承、公開する機会を支援していく。また、市内に存在する文化財の公開や保護活動などを行っている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、きりたんぼまつりやアメッコ市などのイベントで、酒こし舞や獅子踊りなどの郷土芸能を市民に披露した。 大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会は、10月4日から6日までの3日間、中央公民館で開催した。今回は53回目、「江戸時代の羽州街道に行く 長坂~矢立峠」、「明治~昭和期 秋田の書画人展」、「南北朝~江戸時代の刀剣」の3部構成で、史料、絵図、写真、書画、刀剣などを展示し、市民の関心を高めることができた。
課題等	大館市郷土芸能保存協会は、高齢化や後継者不足などにより、活動を継続していくことが難しい状況となっている。 地域の郷土芸能を継承していくため、小中学校等での活動の支援を継続していく必要があるが、児童・生徒も減少しており、今後は活動の継続に支障をきたす恐れがある。 郷土芸能の記録保存について検討する段階にあると思われる。
学識経験者等意見	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 人口減少に伴って、後継者不足という難しい問題をはらんでいるが、SNSでの発信が問題解決のヒントになるのではと感じる。 若い世代にストレートに教えると食いついて来るのではないかと感じる。 現状を発信していけば、やってみようという人が出てくるのではないかと感じる。 郷土の伝統文化の継承と普及のためには、地道な取り組みが必要だと思いが根負けせずに継続し、大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携しながら、頑張っていたきたい。

基本目標		
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成	
重点施策		
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える	担当課(館)
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ニホンザリガニ生息地」の再生を目指す事業が令和7年度で9年目を迎える。第1人工生息地においては、生息個体数がおよそ30匹程度と定着しており、これを維持していけるように生息環境を適切に管理し、地元高校の生物部によるモニタリングを行っていく。また、第2人工生息地においても、生息環境を適切に管理し、モニタリングを行うとともにフェンスと門扉を設置する。ニホンザリガニの増殖技術の確立に向けて、専門家など関係者と情報交換していく。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等	天然記念物を保存する気運を醸成するため、大館郷土博物館と男鹿水族館での飼育展示を継続し、教育普及に努めた。 令和元年度に整備した第1人工生息地のモニタリング調査を、大館鳳鳴高校生物部に協力していただき、行った。6年続けて30匹以上の生息が確認されており、個体が定着していると考えられる。また、柵の周囲に植えた草木も順調に繁茂しており、生息環境として整ってきている。また、今年の8月に完成した第2人工生息地では、約20匹のニホンザリガニが確認された。これまで、捕獲や病原菌が持ち込まれる恐れがあるため、場所は非公表としていたが、フェンスや門扉の設置により環境が整ったため、今後は、第2人工生息地での活動を積極的に発信し、文化財保護意識の醸成に活用しながら、良好な生息環境を維持したいと考えている。10月には第2人工生息地で、市民ボランティアによる環境整備イベント(参加15名)を開催し、文化財保護への関心をさらに高めることができた。	
学識経験者等意見	人工生息地でニホンザリガニの生育が安定してきているが、博物館内での水槽飼育による増殖技術がまだ確立されていないため、引き続き専門家の助言や協力を得ながら研究していく。 人工生息地のモニタリングを継続し、ザリガニが安定して生息できるよう環境を維持していく必要がある。	
	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	長年の地道な努力に頭が下がる。天然記念物ということで責任も重く、困難な状況もあると思うが、これまで積み上げてきたものについてレベルアップを図っていただきたい。 人工生息地からの発信は大きな動きにつながると思う。市内外にこの取り組みが広がっていくと思う。ケーブルテレビなどでも取り上げてもらえば新たな動きが見えてくるのではないかな。 天然記念物を未来に継承するため、取り組みを継続してほしい。	

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	新庁舎建設事業に伴う大館城跡の発掘作業により出土した遺物の整理、記録、保存を行い、大館城跡全体の発掘調査記録報告書の刊行に向けて作業していく。また、市内の官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査及び試掘・確認調査を相手方の理解を得て連携し、適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>令和3年から令和5年に行った、新庁舎建設事業に伴う旧庁舎建物跡地の発掘調査で出土した陶磁器や木簡などについて、発掘調査報告書の刊行に向け、整理・記録・保存を行った。</p> <p>また、この掘調査結果について、7月から9月にかけて、企画展「大館城跡・中仕田Ⅱ遺跡発掘調査成果展」を開催した。令和5年度の発掘調査で確認された柵・塀の痕跡や、二ノ丸に存在した江戸時代の遺構・遺物を展示し、大館市の文化的資産を広く発信するとともに文化財に対する保護の意識を高めることができた。</p> <p>また、県営圃場整備事業や土地造成工事などの官民の開発事業に伴う試掘調査を市内7ヶ所で行い、比内町の大岱遺跡からは竪穴建物跡や土師器が出土し、数珠掛遺跡では、職場体験学習として、東中学校2年生3名が発掘作業や出土品整理作業を行った。</p>
課題等	令和5年度で完了した新庁舎建設事業に伴う発掘作業で確認できた遺構や出土品などについて、発掘調査報告書の刊行に向けて、その調査記録や出土品の整理・記録・保存を着実に実施していく。 大館城の歴史や埋蔵文化財への興味・関心を高めていくため、出土品を公開するなど活用に努め、市民の貴重な共有財産である埋蔵文化財を子や孫の世代へ引き継ぐため、引き続き各地での調査に取り組んでいきたい。 また市内の開発事業等に伴う発掘調査についても、相手方の理解を得ながら進めていく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	発掘は人手がかかる地道な作業であり、誰もができることでは無く専門性の高い事業だと思うが、文化財保護法でやらなければならない事になっている。マンパワーが大きいと思うので、人財の育成も含めて頑張ってもらいたい。 いろいろ課題もあり大変だと思うが、県の埋蔵文化財センターとのつながりも大事にし、文化財の保護に努めながら郷土の歴史と文化を学び、未来に伝える活動を継続していただきたい。

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	③ 国指定名勝「鳥潟会館庭園」の保存と活用
	歴史文化課
活動内容	令和6年度、鳥潟会館庭園が国名勝に指定されたため、庭園および関連建造物の適切な保存と活用を図る事業を行うための基盤となる「保存活用計画」を策定する。また、主屋については関係機関と連携し、重要文化財の指定を目指して取り組む。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	鳥潟会館庭園が令和6年10月に国の名勝に指定されたことから、庭園の本質的価値を保存し、子や孫世代に継承するため、学識経験者等による「名勝鳥潟会館庭園保存活用計画策定委員会」を設置し、今後20年を視野に概ね10年の方針を示す保存活用計画を策定した。来年度から、国の「歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業補助金」を活用し、鳥潟会館の整備を進めるため、国に補助申請を行った。また、母屋の重要文化財指定を目指すため、国に建造物調査の補助申請を行った。令和7年10月に花岡小学校の児童による「花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！」を開催した。(参加者103人)児童たちが見学者に鳥潟会館の見どころを紹介し、茶席コーナーや花岡ふるさとカルタコーナーでおもてなしを行った。「鳥潟会館や花岡の歴史のすばらしさを伝え、地域を盛り上げたい」という児童たちの思いが伝わる、心温まるツアーとなった。児童たちはツアー当日だけでなく、ポスターやリーフレット、PR動画の作成など広報活動にも積極的に取り組んでおり、歴史を学ぶことを通じて地域文化の継承に貢献することが期待される。
学識経験者等意見	国指定名勝である鳥潟会館庭園の本質的価値を保存・継承し、今後の活用を見据えた整備を行うため、学識経験者等からなる「整備指導委員会」を設置し、保存活用計画に基づいた整備計画を策定する。今後も文化庁や県、整備指導委員会の指導・助言を受けながら、専門技術者や造園業者と連携し、計画的かつ着実に整備を進めていきたい。 また、母屋の重要文化財指定に向けて、県と連携して、調査事業の着手について準備をしていく。
	鳥潟会館での「花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！」について、児童たちが前日に行った練習を拝見した。指定を受けたことで取り組みに熱が入り、子どもたちの郷土愛の醸成にかなり役立つのではないかと感じた。教育的価値も含め有効だと感じた。 鳥潟会館の整備を進めていくにあたって、古いものなので手をかけなければならない所がたくさんあると思う。知恵を出して取り組んでいただきたい。 クマや雪の対応もいろいろあると思うが、鳥潟会館を子や孫世代へ継承していくことを住民としてもお願いしたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標						
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成					
重点施策						
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める	担当課(館)				
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援	歴史文化課				
	活動内容	文化遺産活用まちづくり実行委員会が取り組んできた事業を活用して、郷土の伝統芸能の継承と後継者の育成につながるよう、関係団体と連携して取り組んでいく。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>文化庁の補助による文化遺産活用まちづくり実行委員会の事業が令和4年度で終了し、昨年度と同様に7年度も実行委員会の加盟団体が、それぞれ補助事業の成果品を活用したPR事業などを展開した。 大館神明社例祭では、各町内でお囃子や踊りを継承し、コロナ禍前の通常の様で開催することができた。 建築士会によるヘリテージマネージャーは、国の登録文化財「桜櫓館」で建築様式や使用されている貴重な木材、施設の歴史や特徴について学びながら一緒に手入れや掃除を行う講座を開催し、地域資産の保全に関する活動を行った。</p>				
	課題等	伝統芸能組織の後継者が減少しており、文化遺産活用活用まちづくり実行委員会への新規加入には至らなかった。 今後も伝統芸能の継承と維持保存に向けて、関係団体と取り組んでいく必要がある。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
	学識経験者等意見	引き続き、歴史的風致維持向上計画に基づき、文化財の保全と活用に努めていただきたい。若い世代へアタックし刺激を与えることが一つのヒントとなるのではないかと感じた。テーマとしては大変大きく歴史を感じる部分ではあるが、視点を変えると違うものが見えてくるのではと思う。祭りは熱を帯びやすく、若者に入っていくやすいと思う。 桜櫓館はうまく活用できていると思う。建築士会などの他の団体との連携を深め、知恵を借りながら取り組んでいただきたい。				